

# JIS

## ゴム及びプラスチックホース試験方法— 第 1 部：ホース及びホースアSEMBリの 寸法測定

JIS K 6330-1 : 2003

(JRMA/JSA)

(2008 確認)

平成 15 年 12 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 化学製品技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	宮 入 裕 夫	東京電機大学
(委員)	江 村 智 之	日本プラスチック工業連盟
	奥 山 通 夫	社団法人日本ゴム協会
	笠 野 英 秋	拓殖大学
	加 茂 徹	独立行政法人産業技術総合研究所
	木 原 幸 弘	社団法人日本化学工業協会
	桐 村 勝 也	社団法人日本塗料工業会
	高 野 忠 夫	財団法人化学技術戦略推進機構
	高 橋 信 弘	東京農工大学
	西 川 輝 彦	石油連盟
	西 本 右 子	神奈川大学
	古 川 哲 夫	財団法人日本消費者協会
	堀 友 繁 博	財団法人バイオインダストリー協会
	吉 田	昭和シェル石油株式会社

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 10.3.20 改正：平成 15.12.20

官 報 公 示：平成 15.12.22

原 案 作 成 者：日本ゴム工業会

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1 丁目 5-26 東部ビル TEL 03-3408-7101)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：化学製品技術専門委員会 (委員長 宮入 裕夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本ゴム工業会 (JRMA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS K 6330-1:1998** は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正は、日本工業規格を国際規格に整合させるため、**ISO 4671:1999**, Rubber and plastics hoses and hose assemblies—Methods of measurement of dimensions を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

**JIS K 6330-1** には、次に示す附属書がある。

附属書 1 (参考) JIS で用いる計測器

附属書 2 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表

**JIS K 6330** の規格群には、次に示す部編成がある。

**JIS K 6330-1** 第 1 部：ホース及びホースアセンブリの寸法測定

**JIS K 6330-2** 第 2 部：耐圧性試験

**JIS K 6330-3** 第 3 部：負圧試験

**JIS K 6330-4** 第 4 部：低温雰囲気下における柔軟性

**JIS K 6330-5** 第 5 部：電気試験

**JIS K 6330-6** 第 6 部：接着試験

**JIS K 6330-7** 第 7 部：静的オゾン劣化試験

**JIS K 6330-8** 第 8 部：衝撃圧力試験

**JIS K 6330-9** 第 9 部：ホース及び管の曲げ特性

**JIS K 6330-10** 第 10 部：液体透過性試験

# 目 次

	ページ
序文 .....	1
1. 適用範囲 .....	1
2. 引用規格 .....	1
3. 状態調節 .....	2
4. 内径 .....	2
4.1 A 法 .....	2
4.2 B 法 .....	3
4.3 C 法 .....	3
4.4 D 法 .....	3
4.5 E 法 .....	3
4.6 F 法 .....	3
4.7 G 法 .....	3
5. 外径 .....	3
5.1 A 法 .....	3
5.2 B 法 .....	3
5.3 C 法 .....	3
5.4 D 法 .....	3
6. 補強層外径 .....	4
7. 肉厚 .....	4
7.1 A 法 .....	4
7.2 B 法 .....	4
7.3 C 法 .....	4
7.4 D 法 .....	4
8. 偏肉 .....	4
8.1 A 法 .....	4
8.2 B 法 .....	4
8.3 C 法 .....	5
8.4 D 法 .....	5
8.5 E 法 .....	5
9. 内面層及び外面層の厚さ .....	5
9.1 A 法 .....	5
9.2 B 法 .....	6
9.3 C 法 .....	6
10. ホースアセンブリの内径 .....	7
11. 長さ .....	7

	ページ
11.1 長さ測定 .....	7
11.2 測定箇所 .....	7
12. 試験結果のまとめ方 .....	9
13. 試験報告書 .....	9
附属書 1 (参考) JIS で用いる計測器 .....	10
附属書 2 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 .....	11
解 説 .....	17

白 紙

# ゴム及びプラスチックホース試験方法— 第 1 部：ホース及びホースアセンブリの寸法測定

## Testing methods for rubber and plastics hoses— Part 1: Methods of measurement of dimensions for hoses and hose assemblies

**序文** この規格は、1999年に第2版として発行された ISO 4671:1999, Rubber and plastics hoses and hose assemblies—Methods of measurement of dimensions を翻訳し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書 2 (参考)** に示す。

**警告** この規格の利用者は、通常の実験室での作業に精通しているものとする。この規格は、その使用に関連して起こるすべての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において安全及び健康に対する適切な措置を取らなければならない。

**1. 適用範囲** この規格は、ホースアセンブリを含むゴム及びプラスチックホース (以下、ホースという。) の各部位の寸法を測定する方法について規定する。

寸法測定項目としては、内径、外径、補強層外径 (液圧用ホースに適用する。)、肉厚、偏肉、内面層及び外面層の厚さ並びにホースアセンブリの内径及び長さがある。

**備考** この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21 に基づき、IDT (一致している)、MOD (修正している)、NEQ (同等でない) とする。

ISO 4671:1999, Rubber and plastics hoses and hose assemblies—Methods of measurement of dimensions (MOD)

**参考** JIS で用いる計測器を、**附属書 1** に示す。

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、発行年を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。発効年を付記していない引用規格は、その最新版 (追補を含む。) を適用する。

**JIS B 7502** マイクロメータ

**備考** ISO 3611:1978, Micrometer callipers for external measurement からの引用事項は、この規格の該